

2019年2月7日

亀山市長 櫻井 義之 様

日本共産党亀山市委員会
委員長 服部 孝規

「陸上自衛隊と米海兵隊との実動訓練に伴う明野駐屯地でのオスプレイの飛行と機体整備の撤回、中止を求める」要請書

2月4日から饗庭野演習場（滋賀県高島市）で実施されている自衛隊と米海兵隊の実動訓練にあたり、三重県の明野駐屯地が、米海兵隊航空機「オスプレイ」の機体整備や同駐屯地と饗庭野演習場との間の飛行等のために利用されている。

オスプレイは、沖縄県名護市沿岸の事故をはじめ世界各国で墜落事故を繰り返してきた危険な飛行機であり、飛行ルートが不明のままでの飛行や明野駐屯地での機体整備は、亀山市民の安寧な生活に強い不安を与えている。特に離着陸時の猛烈な爆風や爆音、低周波も大きな問題を引き起こしている。

また飛行ルートは明らかにされていないが、饗庭野演習場と明野駐屯地の位置関係からすれば、亀山市上空を通過している危険性も考えられる。

日本共産党亀山市委員会は、亀山市長がこのような危険な状況から市民の平穏な生活と安全を守る立場をとり、日本政府に対し実動訓練を中止し、オスプレイの飛行および機体整備等をやめること、明野駐屯地が今後ともオスプレイの訓練などに恒常的に利用されないこと、オスプレイの購入をやめること、日米地位協定の抜本改正を行うことなどを求めるよう要請します。